

学校法人 東京滋慶学園 ベルエポック美容専門学校 学校関係者評価委員会 評価結果

【平成30年6月19日実施】

学校関係者評価委員氏名 【 委員集約資料 】

平成30年度自己点検自己評価(平成30年4月1日～平成31年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりの御意見
1 教育 成人材 像 目的 ・	1 理念・目的・育成人材像	2.85		学校運営にあたり、一番大切にしていることが、ミッションと理念である。これを基に、作成している事業計画があるからこそ、健全な学校運営ができています。 事業計画で考える中期計画は、学校の未来を表現したものであり、そこで考えられた組織目的、運営方針、実行方針、実行計画が学校の成長につながってきた。 また理念、経営者の言葉、学校の考え方や組織文化を、さまざまな形で文書化し、組織内に浸透させるとともに、新たに組織に入ってくる人にも外部にもわかりやすく示していくことかなりの力を注いでいる。このことが、学園、学校の活性化につながっていると考える。	業界の変化に対応するため、育成人材の見直しは、常にかつ組織的に行われなければならない。 本校では、その専門職として、ファカルティ・ディベロップメント・コーディネーター(※)を置き、育成人材像から学科の教育内容の見直しを行っている。 ※ファカルティ・ディベロップメント・コーディネーター(FDC) 専門学校における教育の構成要素①養成目的と教育目標(社会ニーズと卒業時到達目標)②目標達成プロセス(カリキュラム・学年歴・時間割・シラバス・コマシラバス)③目標達成素材(教科書・教材・教育技法)④目標達成支援人材(担任・専任教員・講師)⑤評価基準(透明性・公平性・競争性)を学校・学科の独自性・有効性に役立つように改革する核となる人材。	3	【関野委員】 「今日も笑顔で挨拶を」の標語については学生にどの程度浸透しているのでしょうか。行動指針として学生証などに表記されていますか。 【松永委員】 素晴らしいと思いました。 【大河委員】 時代に合わせたカリキュラムや学生の求めているモノに変化していく学校の考えはとて素晴らしいと思います。 【村橋委員】 教職員に理念・目的・育成・人材のビジョン共有が達成されている。 【雑賀委員】 ミッション・理念は浸透しているイメージ
2 学校 運営	2 運営方針	3		法人としては、事業計画・運営方針を定めることを最も重要視している。その意識で毎年、法人として事業計画・運営方針を定めている。 明文化、文章化され定められた事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間通じ力を入れている。 それは、各種の研修(教職員・講師)、会議(運営会議・学科会議・課別会議等)で行い、全教員が納得して学校運営に携わる環境作りをしている。このことが、学校・学科の教育成果に繋がっていると考えている。常に市場ニーズに対応した事業計画・運営方針をこれからも作成するように努める。	学校運営をマネジメントシステムの準備(計画)と実行として捉え、マネジメントスキル、知識、そしてリーダーとしての研修を重視している。マネージャーは組織運営者であることを前提としている。 また、経歴の浅い教職員が大半である為、毎月1回の全体会議で教務研修を実施し学園・学校の理念周知の為に研修を実施している。	3	【松永委員】 素晴らしいと思いました。 【大河委員】 事業計画、先生、講師の方々の意識の高さなど、学校を運営するためのシステムがとてもしっかりされていてとて素晴らしいです。 【村橋委員】 学校運営に関して、課題の抽出、改善目的の明確化、実績・結果・成果の管理が、学校教職員全体で行われている。 【雑賀委員】 運営全般大変素晴らしいと思います
	3 事業計画		法人としては、事業計画・運営方針を定めることを最も重要視している。その意識で毎年、法人として事業計画・運営方針を作成している。事業計画を立てること、運営方針を定めることは、常に同時に考え、実践している。 明文化、文章化され定められた事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間通じ力を入れている。	事業計画を教職員が自立的に計画し決定し全員で共有する。その上で職場運営が実行に移されていく。 その運営のチェック機能として ①学園の常務会議、②学校ごとの戦略会議(運営責任者会議)、③運営会議(学科責任者会議)、④学科会議、部署会議があり、計画遂行の確認をする。 問題点を早期に発見し、対策を立て、実行するプロセスを確立している。			
	4 組織運営		意思決定に関しては、重要事項の優先順位と対応する機関が明確である。 毎年事業計画策定という厳しい作業があることで、目標志向性の高い組織運営が行われている。	会議については下記2点を重視している。 ①会議の進行ルール ②議題発信と議事録配布・保管のルール また、会議についての研修を実施している。			
	5 人事・給与制度		採用計画と人材育成のための研修は、システムとして確立され、有効に機能している。 採用にあたっては、学園本部が中心となり、採用広報や、採用試験を実施している。 採用は採用基準の基、厳正に実施している。 また、その後の教職員の育成には、もっとも力を入れている。 そして、目標管理制度に基づき、成果に応じた人事や賃金決定が行われている。	数字目標を達成する過程の業務や、数字だけでは評価できない業務は情意効果として評価している。 目標は常に、健全な学校運営・学科運営を実現できているかという視点で立て、評価も公平に行い、学校・学科の成長と教職員の成長に結びつけるようにしている。 また、職員の職場に関するアンケートも実施。 理念、目標の理解度や、職場満足度、各自の希望などの項目でアンケートを取り、その結果を受けての、職場環境の改善にも着手している。			
	6 意思決定システム		法人としては、事業計画・運営方針を定めることを最も重要視している。その意識で毎年、法人として事業計画・運営方針を定めている。 明文化、文章化され定められた事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間通じ力を入れている。 それは、各種の研修(教職員・講師)、会議(運営会議・学科会議・課別会議等)で行い、全教員が納得して学校運営に携わる環境作りをしている。 このことが、学校・学科の教育成果に繋がっていると考えている。 常に市場ニーズに対応した事業計画・運営方針をこれからも作成するように努める。	会議は 1. 法人理事会・評議員会 最高決議機関 2. 学校戦略会議 運営方針の起案会議 3. 法人学校運営会議 運営方針の問題を発見・対策立て会議 4. 運営会議 学校の目標達成に向け、発生する問題解決会議 5. 学校全体会議 決定事項の周知、教務研修の実施 6. 学校学科会議・部署会議 部署の問題解決会議 7. グループ各委員会会議(広報委員会・総務人事委員会・就職委員会・国家試験対策委員会・学科別教育研究委員会) 8. 様々なプロジェクトの会議がある。			
	7 情報システム		情報のシステム化により業務効率化は推進されている。 法人内のコンピューター関連会社の協力で情報の一元化に成果が現れたことによる。 今後も、情報を一元管理し、進路決定～就職までを情報を活かしながらできるようにしていく。 また業務を効率化することで直接学生と接する時間を多くするようにしていく。	情報が一元化された運営を行っているため、学生の情報にプレがないようにシステムを構築している。退学者防止や就職支援へと繋げていく。			

学校法人 東京滋慶学園 ベルエポック美容専門学校 学校関係者評価委員会 評価結果

【平成30年6月19日実施】

学校関係者評価委員氏名【委員集約資料】

平成30年度自己点検自己評価(平成30年4月1日～平成31年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりの御意見
3 教育活動	8 目標の設定	2.7		教育指導要領に基づき、学園の理念に沿った教育を行っている。 教育課程編成委員会でのご意見を下に毎年カリキュラムの見直しを行っている。	学園独自の教育システム PCP教育 MMPプログラム	2.92	【関野委員】 大河様がお話されていた「美容師になって気づいたこと」〇〇人の卒業生が語るという感じで冊子を作成しても良いかもしれません。 【大河委員】 カリキュラムが毎年時代に合ったものに変化し、プロに必要な能力を楽しみながら教育されていてとても良いと思います。もう少し厳しさやプロに必要な当たり前のことを人よりやる細かさなどをもう少し伝えていただけるとよりよいかと思います。 【村橋委員】 業界の変化に対する教育内容の改善努力が見られる。 【雑賀委員】 高い目標をもたれて、活動されているのがお話を聞きまして感じました。
	9 教育方法・評価等	2.25		養成目的・教育目標を立てたうえで、卒後の業界の求める人材育成を実施している。 単なる「職業教育」から「職業人教育」へと教授内容・方法をシフトさせており、その根底になっているものとしてキャリア教育の観点を入れた教育が必要である。	養成目的 教育目標 担任マニュアル 学生サポートブック		
	10 成績評価・単位認定等	2.4		成績評価と単位認定の基準は、学則施行細則はもとより、「教育指導要領」及び「学生便覧」にしっかりと明記し、職員や講師、学生に周知徹底している。 また、それらに基づき学生指導・支援にあたっている。	学生便覧 学則施行細則		
	11 資格・免許取得の指導体制	2.4		美容師免許取得は学科としての必須命題である。このため法律に則った教育の施行を遵守し教育にあたっている。 平成30年度の国家試験の合格率は95.7%、不合格者に対し無料で国家試験対策授業(通信課程)に参加できるようにしている。	学生便覧 学則施行細則 卒後支援プログラム		
	12 教員・教員組織	2		法律に則った教員配置を行っているため特に問題はないが、多様化する学生に対しての学習支援が難しくなっている。 そういった学生に対しても対応できるようにしていかなければならない。	講師会議 科目連絡会		
4 学修成果	13 就職率	2.4		就職率及び3月末日内定率の目標設定をしているが、対昨年度比較でいずれも向上している。就職率81%→86%、内定率96%→97%(残17名→残11名)。 主要因であった担任とキャリアセンター連携が改善されたと言える。 課題としては各学科で傾向が異なり、美容師科は国家試験対策が本格化する年明け1月までに進路決定しておかないと、対策授業と就職活動が重なることで中途半端に陥ってしまう。 トータルビューティ科は目指す分野の就職活動本格化が早い分、その対策も細やかに出来ている一方で流れに乗り切れない学生が、長い期間の就職活動継続を強いられてしまった。 ヘアメイク科は目指す業種が多岐に渡る分、選択ガイダンスに時間と工夫を要するが、流れに乗り切れない学生が業種選択に時間を要した結果、長い期間の就職活動継続を強いられてしまった。 以上の結果、2学科で3月末日未内定計11名だったため、担当職員を配置して早期の就職内定を目指す。	専門部署としてキャリアセンターを設置し、主な役割としては ・入学希望者には美容分野の仕事内容など説明し、安心感を持ってもらうようにする。 ・在学生には企業選択における情報収集や、就職活動の求人内容把握、採用試験の筆記試験対策サポートや面接対策アドバイスなど、円滑な就職活動及び進路決定と合わせ、プロ意識を養い育てていく。 ・卒業生にはキャリアアップ支援のため、実務セミナーの開催や再就職支援の相談を受け付けている。	2.17	【関野委員】 卒業生の社会的評価の具体的な改善を検討ください。 (教員の就職先訪問など) 【松永委員】 卒業後、アシスタントをしている卒業生そしてスタイリストになり活躍している卒業生などと、ベルエポックのイベントなどを通じ交流を深めていく。 学校側を卒業生側がお互いサポートしあえば、よりよい関係ができていいと思う。 【青山委員】 卒業後も活躍を疲労できる場を与えていることはすばらしい。 就職後の辞めさせない様サポートはもっとサロンと連携すべき。 【大河委員】 就職率の高さはとてもすばらしく、先生方の指導あってのことだと思います。卒業生の1度やめてしまった子たちへの学校に相談しやすい仕組みがあれば同じ業界への再就職する子が増えるのかなと思います。 【村橋委員】 新卒者の早期離職に対する防止対策への取り組み等、課題が存在する。
	14 資格・免許の取得率	2		職業人教育を担う教育機関としては就労につながる資格に関しては学生全員に取得していただくことを目標にしているが、学生全員の全ての資格試験合格には至っていない。 現在は各学科で資格取得のために、対策授業の実施など対策を立て実行している。	資格特別対策講座を、各資格で必ず取り入れている。 美容師国家資格では、10年以上全国平均を上回る結果を残している。		
	15 卒業生の社会的評価	1.2		卒業生の活躍により業界へ学校認知度が広がり、新規求人のほかヘアメイク実習案件や業界研修先も増えている。 しかし卒業生の活躍状況を把握する仕組みが出来ていないので、仕組み作りをしていく必要がある。	美容雑誌社とのコラボレーションにて卒業生紹介を行っている。 ・美容専門誌:CHOKiCHOKi x ベルエポック美容専門学校		

学校法人 東京滋慶学園 ベルエポック美容専門学校 学校関係者評価委員会 評価結果

【平成30年6月19日実施】

学校関係者評価委員氏名 【 委員集約資料 】

平成30年度自己点検自己評価(平成30年4月1日～平成31年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりの御意見
5 学生支援	16 就職等進路	2.4		就職支援力の指標として就職内定率の推移を見ると、開校以来95%以上を維持出来ているので、学校全体としての就職支援体制は高いレベルと言える。但し就職率の推移では85%を維持したいが、80%を割り込む年度もあるので今後対策を講じたい。	滋慶学園グループ美容分野の各校にて、求人情報のほか採用試験報告書なども情報共有し、就職支援体制が高いレベルで整えられている。	2.42	【関野委員】 参考になれば… 本校では25歳での社会自立をテーマに卒業生の支援に取り組んでいます。専用Webサイト、OB会の実施、個別相談、在校生イベントへの参加、グループ企業と連携した職業相談、求人紹介などに取り組んでいます。 【松永委員】 就職した方達への卒業後のサポートがあるとさらに信頼関係ができ、いいと思います。 【青山委員】 17・入学前の時点での将来のビジョンを確認。 目標→現状→プロセスを考える時間を定期的にする。 19・21奨学金を受けている学生に対して、将来職についた後の返済しながら生活していく事について、リアルに考えプランニングすべきだと考えます。 【大河委員】 色々な面での学生への生活の支援や、楽しむための支援があり、とても素晴らしいと思います。 卒業後もいろんな年代の卒業生が出会う機会があり、ほくもとても感謝しています。 【村橋委員】 離職者への再就職アドバイスや相談など、フォロー対策が望まれる。 【雑賀委員】 卒業生の社会的評価が気になります。21にもつながると思いますが卒業生の卒業からの1年～3年を追うシステム仕組みができると思う。サロンを運営している側としては卒業生とサロンとで、上手に仕組みを作り離職をふせぐ環境強化に力をあわせられれば離職率の定価にもつながり、学校の評価がさらにゆがまない物
	17 中途退学への対応			2	本校の平成30年度の中途退学率は6.8%と悪い水準である。対策として担任力の向上を図る研修を実施、チームで支援体制を作っていくこと、そして保護者、講師との連携をしていく。		
	18 学生相談	2.7	学生との各種相談に対応できる体制を整えている。学生の相談内容が広域になり対応の際に専門的知識を伴うケースが多いため、スクールカウンセラーや留学生担当の職員の配置など対応できるようにしている。	SSC(スチューデント・サービス・センター)と連携をして学園として学生相談室を設置している。留学生担当教員は東京都専修学校各種学校の主催の「留学生受入れ担当者研修」を受講し、受入れ担当者の資格を取得できるようにしている。			
	19 学生生活	2.55	奨学金利用や健康管理、学生寮、サークル活動などを学生の生活支援の一環として実施している。養成像との直接の関わりはないが、美容分野への就学の機会や中途退学の抑止につながっていると思われる。	公的奨学金(日本学生支援機構・東京都育英資金) 医療機関 一人暮らしサポート サークル活動			
	20 保護者との連携	2.4	普段の教育においても家庭からの協力を得られるように保護者会などでお願いをしている。具体的には出席の状況が不良の場合など一定の基準を伝え保護者に連絡を入れて就学支援の協力を仰ぐようにしている。ただ連絡が取りにくい状況もあり今後は文書の発送に切り替える必要がある。	保護者会 学科便り			
	21 卒業生・社会人	2	年1度開催される同窓会を中心に業界で活躍している卒業生情報を入手し、特別授業など講師で採用して在学学生に対し目標とする姿を見せられている。また適宜転職や再就職相談に応じ、一定のニーズに応えられている。そういった個別での支援は整備されているが、再教育システムは未整備のままとなっている。様々な事情で業界を離れたが再挑戦したい、美容業界の他業種に挑戦したいなどニーズに応えるためには、教育面での卒業生向けシステム構築が必要となる。そういった取り組みを通じていくことで、美容業界からの離職率を低くしたい。	生涯就職支援システムとして、滋慶美容グループ校合同で各校キャリアセンターを中心に卒業生の転職相談など支援を行っている。			
6 教育環境	22 施設・設備等	2.4		実習授業に力を入れている本校にとって、学内実習室が実際の現場で使われている設備を揃えていることが、必要不可欠である。実践教育のための学内施設、設備は整備されていると考えている。各教室、実習室は、各種の申請に必要な条件を全てそろえた環境として、承諾を得ている。	平成30年度は第2校舎外壁修繕を行い建物の大規模メンテナンスを行った。校内の破損頻発箇所についても根本解決を試みるための修繕を実施。掲示板などの美観を保つためにマグネット式の掲示板を設置。経年劣化した備品については更新をしている。	2.97	【大河委員】 設備はとても充実して整っていると思うので、海外研修への参加をもっと増やしてあげると、かけがえのない経験という部分でよいのかなと思います。 【雑賀委員】 素晴らしいと思います。
	23 学外実習、インターンシップ等			2	学外実習・海外研修を行うことで、学園の理念である「実学教育」「人間教育」「国際教育」の全てと関わることになり、その教育効果は大きいものと考えている。		
	24 防災・安全管理	3	防災、火災訓練を実施し、学生、教職員、講師へ非難手順や方法を指示し実施している。救急時における知識の習得と意識付けは出来ている。職員を救命救急のための講習に受講させ救命救急コーディネーターの資格保持者を3名専任することができた。AEDを1台追加し基幹校舎に設置をすることで有事対応密度を上げることができた。	・防災訓練の映像化(DVD)がされており、学生・教職員・講師全員が視聴し、防災の意識を高めている。 ※学生避難訓練:平成30年4月10日実施 ※職員消火訓練:平成30年4月10日実施 ・AEDの全校舎設置 校舎入り口付近に自動体外式除細動器(AED)計3台を設置している。月に一度自動体外式除細動器(AED)の点検をしている。 教職員には、使用方法の講習済みである。校舎入り口にシールを貼り、設置を知らせているので近隣の方々にも緊急の際使用できるようにしている。			
7 学生入のれ募集と受け	25 学生募集活動	2.7		学生募集活動は、学則を基に、その年の入学案内、募集要項の通り、適正に行われていると考えている。	顧客となる、原宿好き、美容好き、ファッション好きの高校生を対象に、その顧客にあった価値を提供している。(価値:原宿コラボレーション) 授業内容や、体験授業でその体験化を図り、教育前教育として職業の理解を深めてもらえるように努め、HPやスマホ、SNSなどで多くの人に見てもらえるように情報発信に注力している。	2.83	【大河委員】 学生のニーズに合わせた募集の方法、学校の見せ方はとても素晴らしいと思います。 【村橋委員】 学校の個性を確実にPRできており、堅実な募集活動と実績がみられる。 【雑賀委員】 素晴らしいと思います。
	26 入学選考			2.4	入学選考の基準は明確に定められ適性に入学選考が行われている。入学者数の予測を踏まえ財務を考えている。		
	27 学納金	3	学納金については算定の内容を明確にしておりかつ毎年見直しを行い決定している。入学辞退者の授業料の扱いも文部科学省の通知趣旨に則って行っている。	入学金、授業料、諸費用を分けて学費徴収することで、教科書・教材費に関して無駄な費用請求を無くしている。 入学辞退者に関して3月31日までの申請に関しては、原則入学金以外の費用を受験生に返還している。			

学校法人 東京滋慶学園 ベルエポック美容専門学校 学校関係者評価委員会 評価結果

【平成30年6月19日実施】

学校関係者評価委員氏名 【 委員集約資料 】

平成30年度自己点検自己評価(平成30年4月1日～平成31年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりの御意見
8 財務	28 財務基盤	3		短期・中期・長期の収支計画を立て財務状況の健全維持に努めている。収支・キャッシュフローの状況についても適宜確認できるようになっている。 学外に学校会計を担う株式会社があり財務面での処理については中立公正の立場で会計処理を実施しているので不正行為も未然に防げるようになっている。	学校法人東京滋慶学園財務諸表	3	【大河委員】 しっかりとした仕組みをつくられており、大きな組織として、とてもすばらしいと思います。 【村橋委員】 安定した生徒募集を基礎に健全な経営が行われている。 【雑賀委員】 報告書を見れる通り素晴らしいです。
	29 予算・収支計画	3		厳しいチェック及び評価が行われ、いわゆる債務超過になったり、資金不足になったりする状況にはなっていない。 そのため、中長期的には財務基盤は安定し、本校の学校運営も安定していると考えている。 5ヵ年計画に基づいた収支計画は中長期的な視点で物事を考えることができるため、財務基盤の安定に資するための大規模な計画もじっくりと立てることができ、この方針は今後も続けていくと考えている。	本部による財務状況のチェックを毎月受けている。 また監事及び公認会計士による監査、行政への報告などを行っている。		
	30 監査	3		現在のところ、監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、適正な計算書類を作成していると考えている。 監査を有効に実施してもらうために、証憑書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓に努めている。	私立学校法上義務付けられている「監事による監査」を受けているが、それに加えて、補助金対象ではない当学校において「公認会計士による監査」も受けている。 これによって適正な計算書類の作成とその信頼性の確保に努力している。		
	31 財務情報の公開	3		財務情報公開の体制整備は平成17年4月1日には終了し、体制整備はできている。 学園の特徴は、法改正の変化に迅速に対応できる機動力である。 今後ともどんな法改正にも迅速に対応していくと考えている。	「財務情報公開規程」「情報公開マニュアル」によって、秩序整然たる順序に基づいて情報公開に対処している点が特徴として挙げることができる。		
9 法令等の遵守	32 関係法令、設置基準等の遵守	2.4		法令や設置基準の遵守に対する方針は文章化し、法令や設置基準の遵守に対応する体制作りは、平成17、平成18年度で完全に整備させた。 また、教職員の啓蒙として、法令や設置基準を遵守に対する教育または研修を、実施している。	監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象としてコンプライアンスの実施状況についても監査してもらっている。	2.75	【大河委員】 情報の管理、公開を社会情勢に合わせてやられており、優れていると思います。 【雑賀委員】 素晴らしいと思います。
	33 個人情報保護	2.4		社会的にも個人情報流出のニュースが目立ち、必然的に学園主導ではあるが個人情報の取り扱いの意識向上につながった。 また、個人情報の取り扱いに関する情報整理やルール策定、職員の研修などを整備したことにより管理の透明性を図ることができた。	個人情報管理シート CPA研修 CPO研修 TRUSTe		
	34 学校評価	2.85		学校評価は適切な手順・方法で実施をされており、評価結果についても学校情報の一部として公開をしている。	学校ホームページにて学校情報を公開している。 ・学校評価(平成30年度)		
	35 教育情報の公開	2.4		自己点検・自己評価の結果を学校情報としてホームページ上に公開している。 情報公開という点では公開手段は現社会情勢に合った方法をとっており、実施内容は問題ないと考えている。	学校ホームページに下記情報を掲示している。 ・学校情報:トップページよりリンク ・職業実践専門課程:トップページよりリンク「別紙様式4」への導線を敷いている。		
10 社会貢献・地域貢献	36 社会貢献・地域貢献	1.5		学校としての社会貢献・地域貢献はその活動規模が小さいため目立ってはいないが、教育につなげて実施はしている。 また、学園をあげての取り組みとして、地球温暖化防止のための日常行動の注意喚起がある。	地球温暖化対策の中で、学生への啓蒙活動としてポスターを掲示している。 現在は、教職員に対してはクールビズとウォームビズを行っている。	1.58	【関野委員】 ベルエポックならではの地域貢献・社会貢献の検討が考えられます。 【松永委員】 今の活動を続けていき、これからまた新たな活動を取り入れていけばいいと思う。また美容を通じての活動など… (例)地域の方をおよびしてカットなどをする。 【青山委員】 今後より必要とされる福祉美容師という選択を考えさせる機会を与える。 【大河委員】 原宿のイベントや人ともっと活動したり地域のために活動することでもっと周囲からの評価を高めることができるのではないかと思います。 【村橋委員】 社会貢献が働きがいにつながる様な訪問美容などへの取り組みを期待する。 【雑賀委員】 報告でもありましたように、これからの活動に期待しております。
	37 ボランティア活動	1.2		地域貢献・社会貢献・ボランティア活動については、実績が少ない。 学校内だけではなく外に目を向けてそれらの活動していくべきである。	盲導犬協会募金		